

学校だより 3つの「あ」×3つの「ことば」

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんでん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和7年7月22日発行

令和7年度 1学期を写真で綴りながら振り返ります

1学期の登校日は73日でした。この間、『おびひろ市民学』『出前講座』をはじめ、地域の方々や外部講師の方々のお力添えをいただき、子ども達に向き合っていました。今号では、その一端を写真で綴りながらお伝えします(紙面の構成上、これまでお伝えしていなかったものを中心に掲載します。ご了承ください)。

4月



6月



4.24 ダスキン帯広から講師をお招きし、おそうじ出前教室を1年生で行いました。『そうじ』は健康で快適に生活していくためになくてはならないものであること、掃除用具を正しく使うことなどを教えていただきました。(写真上)

6.20 外国語指導講師(ALT)のさんと一緒に3年生が外国語活動の授業を受けました。写真右は交流場面の一コマです。子ども達は、英語を使って楽しく笑顔で交流していました。



7月



7.1 おびひろ市民学『人にやさしい帯広を考える』と題して、帯広ろう者協会手話対策部の方々に講師にお招きし、5年生で出前授業を行いました。手話はろう者にとって物事を考えたりコミュニケーションを図ったりするためにかけがえのない大切なものであることを学習しました。講師の方々の声にしっかりと耳を傾け真剣な眼差しで参加していました。

7.10 帯広警察署の方を講師に薬物乱用防止教室を行いました。普段何気なく服用する『かぜ薬』などを大量に摂取すると命に関わること(オーバードーズ)や、大麻や覚醒剤などについて様々な視点(違法性であったり、命に関わったりすること)からお話いただきました。「色々な誘惑が身の回りにありますが、正しい知識をもつことが大切です」と強調して話されていたことが印象に残りました。



7.15 明治乳業の担当者を講師にお招きし、3年生で出前授業を行いました。給食や家庭でも口にする牛乳は、どのように作られていくのかを説明していただきました。十勝帯広は道内でも酪農業がさかんな地域です。食育や地産地消の観点からもたくさんのお話をきくことができました。子ども達の真剣な眼差しが印象に残りました。

*裏面に続きます

小中連携（エリアファミリー）の取り組みの一環として

7月



7.10 出前授業 体力テスト

〔ソフトボール投げ〕(5年生)

帯広第五中の2名の体育教員にゲストティーチャーとして、子ども達に向き合っていました。ボールを遠くに投げるためにどのように体を動かせばよいのかなど、ボール投げの基礎を教わりました。

目を輝かせてボールを握り、遠くへ遠くへとイメージしながら投球していました。

当初の予定では、7月8日（火）に西陵中学校から体育教員をゲストティーチャーに招き、体力テストを実施する予定でしたが熱中症警戒アラートが発令され、屋外での活動や体育の授業ができなくなったことからやむなく中止いたしました。今後、様々な視点で中学校との連携を図ることができるよう取り組みを進めてまいります。

今回の結果（数値）は個人内絶対評価。結果を他人と比べるのではなく、今年の自分と比べます。

この一年間でどれくらい成長しているのかを実感することが「ねらい」の一つです。

1学期もたくさんの方々に支えていただいて、教育活動を進めることができました。本当にありがとうございました。

児童生徒の性暴力等に関する取り組みについて

昨今の教員による児童生徒性暴力等の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について、過日、帯広市教育委員会より通知がありました。これは、児童生徒に対する盗撮やわいせつなどの性暴力行為が後を絶たないことに對し、指導の徹底を期し、性暴力を根絶するためのものです。このことを受け、本校では児童から相談を受ける対応者を **養護教諭** とさだめ、相談に応じてまいります。

また、下記に掲載する『北海道子ども相談支援センターの相談窓口』でも様々な相談に対応しておりますので、児童生徒及び保護者の皆様にあらためてお知らせいたします。どうぞご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

児童生徒のみなさんへ

かけがえのない
あなたの命を守りたい
話そうよ、ひとりで悩まずに
子ども相談支援センター

- あなたの悩みをきかせてください。
- 名前を言わなくても相談できます。
- 秘密を守ります。
- 相談を専門とする人が、悩みをきいてくれます。

- いじめられている、いじめられている友だちを助けたい
- 学校へ行きたいけど行けない
- 友だちとの関係や、家族との関係で悩んでいる
- 家庭の事情で自分の時間がとれない
- 学校の勉強や、進路について悩んでいる
- 性に関することで悩んでいる
- 性的に嫌な思いをしている など

☎ **0120-3882-56** (無料)
※毎日24時間対応

✉ **doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp**

※通話は、土日ともにかかりません。受付時間外のことがあります。
※詳しい情報は、電話番号に教えてください。

北海道教育委員会 子ども相談支援センター 〒060-8644 札幌市中央区北3条西7丁目5番10号2階

保護者の皆様へ

子ども相談支援センター

- お子様の学校生活や子育てについての悩みなどをお話かせください。
- 専門の相談員が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

☎ **0120-3882-56** (無料)
※毎日24時間対応

✉ **doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp**

※通話は、土日ともにかかりません。受付時間外のことがあります。お急ぎの場合は、電話番号にTELしてください。

☎ **0120-3882-56** (無料)
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目5番10号2階
※上記の電話番号で、予約の必要はありません。

☎ **011-386-4520**
〒069-0834 江別市中央京浜南42番地

【相談できる主な内容】
いじめ、不登校、学習・進路、相談窓口の確保、児童虐待、生活保護、虐待防止、虐待、虐待防止、虐待防止、虐待防止

北海道教育委員会 子ども相談支援センター 〒060-8644 札幌市中央区北3条西7丁目5番10号2階

相談の内容に応じて、以下の相談ダイヤルも活用してください。

児童虐待から助かったら ☎ 18番 (児童相談所全国統一ダイヤル)	子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110 (虐待相談、児童虐待相談窓口は 児童相談所による窓口)	少年相談110番 ☎ 0120-677-110 (児童福祉少年サポートセンター)
---	--	--

相談の内容に応じて、以下の相談ダイヤルも活用してください。

児童虐待から助かったら ☎ 18番 (児童相談所全国統一ダイヤル)	子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110 (虐待相談、児童虐待相談窓口は 児童相談所による窓口)	少年相談110番 ☎ 0120-677-110 (北海道防犯少年サポートセンター)
---	--	---

お気づきの点などありましたら、学校（教頭）までお知らせください。